

令和 4 (2022)年度										年 間 授 業 計 画		
教科・科目			数学		数学A		2		単位			
対象学年・組			1 年生(含む特進)				必修修					
教科書 (出版社)			高等学校数学A(数研出版)				Study-Upノート数学A (数研) ★チャート式 解法と演習数学 I +A (数研)					
学習目標 【観点別】			1. 基礎・基本を確実に身に付けさせ、基礎的な知識・技能を習得させる。【知識・技能】 2. 生徒の主体的・創造的な学習能力の育成を図り、生徒が学習の達成感を実感することが出来るようにする。【思考・判断・表現】 3. 生徒の数学に対する興味・関心を深め、数学的な見方や考え方の良さや有用性を実感できるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】									
学期	予定 時数	単元 具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準		知	思	態			
1	前半	12 第1章 場合の数と確率	1. 集合の要素の個数 2. 場合の数		集合の基本的な問題を解くことができる。 数学的な考え方を踏まえ場合の数の問題を解くことができる。 問題集の提出や小テストを解くことができる。		○	○	○			
	後半	12 第1章 場合の数と確率	3. 順列 4. 組合せ		順列・組み合わせの基本的な問題を解くことができる。 数学的な考え方を踏まえ応用的な場合の数の問題を解くことができる。 問題集の提出や小テストを解くことができる。		○	○	○			
2	前半	14 第1章 場合の数と確率	5. 事象と確率 6. 確率の基本性質 7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率		確率の基本的な問題を解くことができる。 数学的な考え方を踏まえ条件付確率などの問題を解くことができる。 問題集の提出や小テストを解くことができる。		○	○	○			
	後半	14 第2章 図形の性質	1. 三角形の辺の比 2. 外心・内心・重心 3. メネラウスの定理・ チェバの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 二つの円		平面図形の基本的な問題を解くことができる。 数学的な考え方を踏まえ平面図形の応用問題を解くことができる。 問題集の提出や小テストを解くことができる。		○	○	○			
3	18	第3章 整数の性質	1. 約数と倍数 2. 最大公約数, 最小公倍数 3. 整数の割り算と商・余り 4. ユークリッドの互除法 5. 一次不定方程式 6. 分数と小数 7. n進法		約数や倍数の基本的な問題を解くことができる。 数学的な考え方を踏まえ一次不定方程式を解くことができる。 問題集の提出や小テストを解くことができる。		○	○	○			
評価の観点 (評価基準)			教科書の基本的な問題を解くことができる。 数学的な考え方を踏まえ応用問題を解くことができる。 問題集の提出や小テストを解くことができる。									
評価の方法			定期考査、授業態度、提出物等により評価									
学習の手引き			・定義や概念を理解する。 ・定理・公式を理解し、その利用方法を整理する。 ・演習問題では、方針を立て、取り組む姿勢を身に付ける。									
授業担当者			今村昶信 長田直樹 菅野未来									